

自己効力感が高いが肥満のある患者の特徴を食行動質問表から検証

1. 研究の対象

2016年6月～2017年1月に2週間の糖尿病クリニカルパス入院し、逸脱なく経過した90例

2. 研究目的・方法

目的:肥満のある糖尿病患者の食行動の特徴と自己効力感の関連を調べ、栄養指導を行う際の参考にするため

方法:入院時に食行動質問、自己効力感質問(SESQ)を行い、肥満患者の食行動と自己効力感について検討する

研究実施期間 : 倫理委員会承認日から2019年5月25日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1) 食行動質問表

性別で比較(体重・体質に関する認識、食動機、代理摂取、空腹・満腹感覚、食べ方、食事内容、食生活の規則性)合計点数を2分位にしてBMI、年齢を比較

2) 自己効力感尺度

食事に関連する自己効力感尺度の合計点数を2分位にし、BMIを比較

3) 自己効力感質問と食行動質問の点数を肥満の有無で比較

4. お問い合わせ先

本研究に関する質問などありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん、もしくは患者さんの代理人の方が拒否の意向を示された場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 糖尿病センター 松本一成

(研究責任者、医師、糖尿病センター長)

長崎県佐世保市大和町15番地 電話:0956-33-7151(病院代表)
